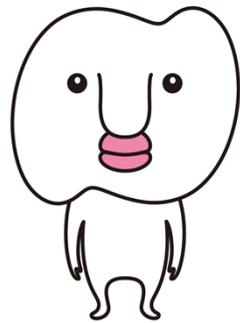


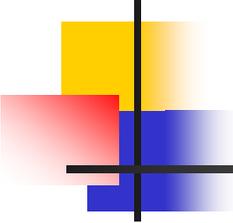
総務省

V-Low マルチメディア放送に関するヒアリング
ご説明資料



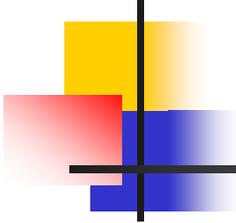
平成23年8月19日

南海放送



ご説明内容

- V-Lowマルチメディア放送への参入について
- マルチメディア放送グループの企画提案についての感想
- 南海放送が考える災害情報の高度化



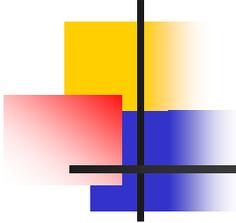
V-Lowマルチメディア放送への参入について

①ハードの具体的な整備計画について

- 委託放送事業者としての参入を希望しています。
- 受託放送事業者に参画せよという要請がある場合は、費用面を含めて新たに経営レベルの判断となります。

②四国地区の局が新メディアに積極的になれない理由

- ローカルBのAM局とローカルFM局の現状について
(口頭でご説明いたします)



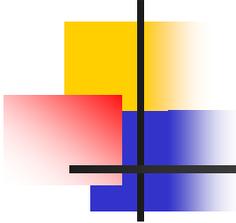
V-Lowマルチメディア放送への参入について

③電波利用料の負担について

- 既存ラジオ局と同等の特定係数の適用を希望します。
- 具体的なビジネスモデルが見えていない現状ですので、アナログ（AM／FM）収入でV-Low放送を運用することが前提となります。

④ソフトのビジネスモデル

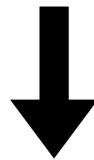
- アナログ放送とのサイマルにより、受信機や端末の普及をまず考えます。
- 将来的には、新たな収入を目的とした新規チャンネルへの脱皮を図りたいと考えています。



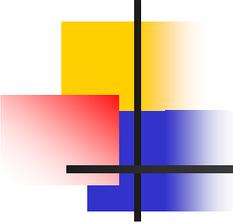
V-Lowマルチメディア放送への参入について

⑤ソフトの参加主体と希望セグメント

- 主体は、南海放送株式会社
- 高音質・ステレオの音声放送や、データ放送・簡易動画の伝送に必要な帯域を希望しますが、メディアや端末は極力シンプルであることが望ましいと考えます。



◎音声優先セグメント内で、1セグメント以内を希望します



V-Lowマルチメディア放送への参入について

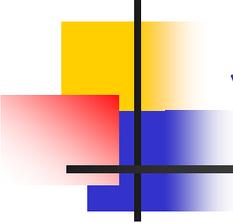
⑥ 端末普及のための具体的な動き

- 地方自治体が、主体的に安心安全端末を普及させることが大切。

※防災無線に使われているIP告知端末と同様のコンセプト。

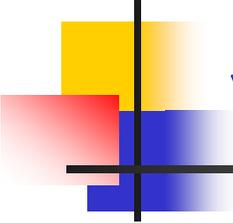
⑦ 課金認証などプラットフォームの機能

- すべての委託放送事業者に共通する最低限のプラットフォーム機能は、受託放送事業者が構築すべきであると考えます。
- 特にローカル局への配慮として、委託放送事業者に過度な負担が生じないように要望いたします。



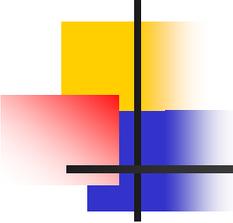
マルチメディア放送グループの企画提案についてのご感想

- 「緊急時に安全安心情報を、住民に向けてプッシュ型で一斉同報配信できる放送サービス。地方自治体自身が主体となってこの責務を果たせるような制度設計を希望します」(P.3)、という部分については共感します。
- 東北大震災を受け、災害情報を意識した新しい枠組みが考えられており、市町村などを放送事業者として組み入れる発想は素晴らしいと思います。
- 但し、行政の監視というジャーナリスティックな使命をもつ「放送」の特性と範疇の中で、平時の放送活動において新たな問題が起こらないか懸念されます。



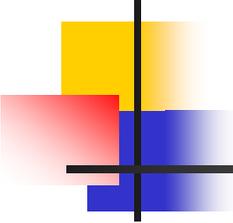
マルチメディア放送グループの企画提案についての感想

- P.28の「Channel-V」(車載機向け放送)、「Channel-Lo」(放送波による電子的情報物流)については、具体的なコンテンツ制作や営業・経営面を考えると現実性に乏しいと思われます。
- 前述のとおり、最新のメディアであればあるほど、よりシンプルでなければ利用者の拡大には繋がらず、不便さが増すものと考えられます。
- 災害時における最も多い被害者は、情報の入手手段を持たない老人層です。従って、S(サービス)よりS(シンプル)な情報入手が不可欠であり、それによりS(セーフティ)に繋がるものと考えられます。



南海放送が考える災害情報の高度化

- 愛媛県内には、コミュニティFM局が1局しか開局しておらず、現在2局目が2012年春の開局に向けて準備中です。将来的には、災害情報や緊急時の生活情報については、コミュニティFMと、当社のような県域ラテ兼営局の連携が必要と考えます。
- 県域ラテ兼営局のアドバンテージは、
 - I. 説得力と親しみのあるパーソナリティやアナウンサーの存在
 - II. 自治体、警察、消防、ライフライン各社との自前の情報・取材ルートを持っている報道部があること
 - III. 60年近い歴史で培われた地域密着の姿勢と地域からの信頼度
- 但し、コミュニティFMには平時にどうやって放送を維持するのか？ 経営的課題と聴取習慣の課題があります。



南海放送が考える災害情報の高度化

- 公共性の高い市区町村レベルの詳細な防災情報システム(公共コモンズ)が構築され…
- それがV-Lowマルチメディアの委託放送事業者に提供されるのであれば…
- 地域防災情報はより高度化し、災害情報報道にとって必要十分条件を満たすものと思われれます。